

目的・方向性	・キャリア教育を早期（中学生まで対象を拡大）から実施し、それまであまり知らなかった市内の「企業を知る」ことや「しごと」について触れることで、将来地元で頑張りたいとする動機づけになる取組を行う。 ・学生等へのアプローチや既存事業所等の後継者育成、事業継承・発展への取組を支援する。 ・農業者や翔陽高校と連携した、体験や交流を実施するとともに地産地消を促進することで食と農の理解を深め、担い手育成につなげる。
ターゲット	・小中学生 ・高校生 ・大学生、社会人など青年

【①取組の進捗状況・前年度からの改善点等】	【②成果】	【③課題と今後の取組方針等】
※①～③が合致するように記載すること	※①～③が合致するように記載すること	※①～③が合致するように記載すること
I. 連携した取組 II. 各課取組 （１）産業支援センター （ア）新入社員の定着を目的とした研修の開催 【前年度からの改善点等】 ・ 半日開催だったものを１日開催にすることで、「つながりづくり」や「自分を振り返る時間」を十分に確保することができるようになった。 ・ イベントなどに参加しやすい夏前に第２回を実施することでイベントへの接続を意識して取組を行った。 【進捗状況】 第１回（5/10）、第２回（7/26）、第３回（9/6）、第４回（12/6） （イ）松江高専との連携による理数系人材の育成 【前年度からの改善点等】 ・ 高専祭において、「益田市ブース」を開設。高専生及び来場者へ益田市のPRを行う。 ・ 小規模小学校対象の工作教室の開催 ・ 高専生による企業訪問 【進捗状況】 ・ 夏の工作教室 7月13日 ・ 高専祭見学会 10月12日 ・ 小規模小学校工作教室 12月13日 ・ 冬の工作教室 12月14日	I. 連携した取組 II. 各課取組 （１）産業支援センター （ア）新入社員の定着を目的として研修の開催 ・ 参加者：16名（8社） ・ 参加者事後アンケート結果 仕事に関する悩みが解消された 100％ 自分自身と向き合うことができた 100％ 職場以外にも同世代の仲間ができた 93％ 仕事に対して前向きになった 100％ 事後アンケート結果より、研修を通して、仕事における目標のアップデートやネガティブな事象について捉えなおすきっかけになっている。また、参加者同士のつながりもできてきている。 ・ 企業担当者事後アンケート結果 仕事へのモチベーションが上がっている様子である75％ 研修参加後の変化として、「自ら行動できるようになった」「少し自信を持った気がする」などといったアンケート結果があった。 （イ）松江高専との連携による理数系人材の育成 ・ 夏の工作教室（4教室） 参加者数 38名 ・ 高専祭見学会 参加児童生徒数 8名（うち保護者2名） 高専生の参加人数 5名 ・ 高専祭における「益田市ブース」の開設 参加企業数 1社（島根中井工業株式会社） 展示物の提供 3社 （メルコパワーデバイス株式会社、シマネ益田電子株式会社、大見工業株式会社	I. 連携した取組 II. 各課取組 （１）産業支援センター （ア）新入社員の定着を目的として研修の開催 【課題】 ・ Masuda no Douki が終わったあともつながり続けることのできる関係性の構築 【今後の取組方針等】 ・ 研修終了後もユタラボサードプレイスやイベント等への接続を促すことでつながりを深めていく。 ・ 併せて、自分自身の振り返りを通して、仕事上の悩みの解消やモチベーションアップにつながるような研修内容になるよう検討を行っていく。 （イ）松江高専との連携による理数系人材の育成 【今後の取組方針等】 ・ 引き続き工作教室を開催する。 ・ 高専祭へのかかわりや、算数・数学パワーアップ教室への参加等により高専生とのつながりを作っていく。

部会名：産業の担い手部会（産業支援センター、農林水産課）			【資料 1－2】
【①取組の進捗状況・前年度からの改善点等】	【②成果】	【③課題と今後の取組方針等】	
・高専生による企業訪問　３月３日～４日 （ウ）支援機関向け企業見学会（益田鹿足雇用推進協議会連携事業） 【前年度からの改善点等】 ・令和６年度から毎月１回実施（４月～１２月） １回につき２社見学、合計１８社を見学 ※令和５年度は１０月１２月の２回実施 【進捗状況】 ・参加人数：平均１３名 見学先：益田石油株式会社、社会福祉法人梅寿会、徳栄建設株式会社、公益社団法人益田市医師会、株式会社 MAC、株式会社沙羅の木 生活協同組合しまね益田支所、大畑建設株式会社、西南セラミックス株式会社、島根電工株式会社 株式会社出雲ポンプ、株式会社ジュンテンドー 高橋建設株式会社、五共木材株式会社、株式会社丸田堀建設株式会社、島根中井工業株式会社 ダイワボウレーヨン株式会社益田工場 参加者：益田公共職業安定所、ふるさと島根定住財団、島根県西部県民センター、島根県広島事務所、Link. しまね所属の相談員、学生就職アドバイザー等 （エ）大学生向け企業見学ツアー（益田鹿足雇用推進協議会連携事業） 【前年度からの改善点等】 大学を限定せず広く周知を行った。 募集開始を早くすることで、募集期間を長くした。 夏休みに入る前に大学や学生に情報を届けられるよう島根県	・小規模小学校工作教室 高専教員１名、高専生３名 参加者数　小学校５校、児童３５名 ・冬の工作教室（４教室） 参加者数　４２名 ・高専生による企業訪問 参加予定　教員１名、高専生５名 訪問予定企業　４社 アケボノ株式会社、メルコパワーデバイス株式会社 シマネ益田電子株式会社、カツデン株式会社 （ウ）支援機関向け企業見学会（益田鹿足雇用推進協議会連携事業） ・求職者への見学先企業の紹介 紹介７５件　採用３２件 ・UI ターン希望者への紹介 紹介３６件　企業見学５件　内定２件 ・各大学の就職担当への紹介 ・大学イベント時等の学生への紹介 ・見学先企業とのつながり 広島、岡山で開催される就活イベントの紹介・参加 参加　広島会場４社、岡山会場１社 （エ）大学生向け企業見学ツアー（益田鹿足雇用推進協議会連携事業） ９/３～９/４開催 ・参加者１名（鳥取大学）※申込３名うち２名がキャンセル。 ・事後アンケート結果 次回も参加したいか　→はい	（ウ）支援機関向け企業見学会（益田鹿足雇用推進協議会連携事業） 【課題】 ・見学先は、協議会会員に公募し決定している。 今年度については、年間スケジュール９回１８社分についてすべて申込があつたが、次年度以降、新たな見学先の確保について検討が必要。 【今後の取組方針】 ・見学先や頻度など開催方法の検証は必要だが、市内企業を知ってもらう取組は必要であるため継続して実施していく。 （エ）大学生向け企業見学ツアー（益田鹿足雇用推進協議会連携事業） 【課題】 参加学生の確保 見学後のつながり 【今後の取組方針】	

広島事務所などへの情報提供を行った。 【進捗状況】 ・9月3日（火）～4日（水）で実施。 4社見学（高橋建設株式会社、ダイワボウレーヨン株式会社、メルコパワーデバイス株式会社、シマネ益田電子株式会社） ・2月12日（水）～13日（木）で実施 4社見学（Mランド益田校、株式会社ジュテンドー、生活協同組合しまね、株式会社石見エアサービス） （2）農林水産課 （ア）学校給食における地産地消の推進 （i）推奨作物の栽培・提供 学校給食の地産地消率は低いが、使用率及び汎用性が高い作物である「玉ねぎ、じゃがいも、人参」を推奨作物として農業者へ栽培を促し、給食センターと卸業者と連携して地産地消を推進する。また、食材提供農業者が学校を訪問して給食を通じた交流や、農業の魅力発信を実施する。 【前年度からの改善点等】 学校給食への推奨作物の追加 【進捗状況】 ニラを学校給食へ提供した。 （ii）農業体験と給食交流 小中学生が翔陽高校の栽培する島根県版 GAP「美味しまね認証ゴールド」を取得したお米の田植、稲刈体験を一緒に行い、学校給食への提供をする。 また体験した小中学校に高校生が訪問して給食交流会を行い、農業や高校の魅力発信を実施する。 【進捗状況】 ・田植体験（5/24、5/27 実施済） ・稲刈体験（9/20 実施済） ・給食交流会（11/12・13 月実施済） （イ）市民の食と農に対する理解促進	・参加学生に市内企業のインターンシップ情報など提供した。 2/12～13 開催 ・参加者 2 名 ・事後アンケート結果 次回も参加したいか →はい 興味を持った見学先があった →はい インターンシップなどに参加したい →はい （2）農林水産課 （ア）学校給食における地産地消の推進 （i）推奨作物の栽培・提供 安心安全な食の供給や食と農の理解を増進することで、地場農産物の消費拡大や益田市の農業を市民全体で支える土台作りにつながっている。 （ii）農業体験と給食交流 翔陽高校との連携による農業の魅力発信により、小中学生に対し益田の農への意識づけが行えたことに加え、高校生自身の成長にもつながり、農に関わる進路選択等、益田の農を支える未来の担い手づくりにつながっている。 <table><tr><td></td><td>実施日</td><td>参加者</td><td>実施日</td><td>参加者</td></tr><tr><td>田植え体験</td><td>5/24</td><td>37 人</td><td>5/27</td><td>19 人</td></tr><tr><td>稲刈体験</td><td>9/20</td><td>7 人</td><td></td><td></td></tr><tr><td>給食交流会</td><td>11/12</td><td>21 人</td><td>11/13</td><td>8 人</td></tr></table> （イ）市民の食と農に対する理解促進		実施日	参加者	実施日	参加者	田植え体験	5/24	37 人	5/27	19 人	稲刈体験	9/20	7 人			給食交流会	11/12	21 人	11/13	8 人	理系学生だけでなく、文系学生を対象としたツアーなど企画の検討を行う。 これまで参加してくれた学生への連絡や県外事務所などへの協力依頼を継続して行い集客を図る。 県外事務所等のアドバイザーが益田市出身学生とつながるための取組を検討する。 （2）農林水産課 （ア）学校給食における地産地消の推進 （i）推奨作物の栽培・提供 【課題】 ・推奨作物の提供時期の重複 【今後の取組方針等】 ・協力農家の掘り起こしを行い、推奨作物の品目の拡充を進める。 （ii）農業体験と給食交流 【課題】 ・受入人数に制限がある。 ・小学校側から給食時間内だけでの交流では、時間が限られるので、もう少し時間をとってもらって高校生と交流できると良いとの要望あり。 【今後の取組方針等】 ・多くの小中学生に体験してもらえよう学校の負担感を減らし、今後も連携して事業を継続する。 （イ）市民の食と農に対する理解促進
	実施日	参加者	実施日	参加者																		
田植え体験	5/24	37 人	5/27	19 人																		
稲刈体験	9/20	7 人																				
給食交流会	11/12	21 人	11/13	8 人																		

（i）多面的機能支払活動の地元組織と翔陽高校の連携 翔陽高校生物環境工学科環境土木コースと地元組織の協働活動に加え、高校生が下の世代（中学生）や他校の高校生に農業土木の重要性を伝える取組を実施。 【前年度からの改善点等】 ・現地見学に加えて、3 グループに分かれて作業体験を実施。 【進捗状況】 ・体験（7/3 実施済） ・見学・体験（9/4 実施済） ・現地補修（11/6 実施済） （ii）圃場見学と対話＋ 市内小学生の校外学習による圃場・施設見学、対話＋、給食交流会を実施。西部農地開発地にて、高津川第1揚水施設、堆肥センター、ぶどうハウスを見学し、収穫体験を行った。また、圃場において、各グループに分かれ生産者及び給食センター栄養士との対話交流を行い、給食にぶどうが提供された日には、生産者が小学校を訪問し、見学当日に児童と生産者によるインタビュー形式のDVDを作成したものを放映し給食交流も行った。 益田市内全校にもDVDを配布し、給食時に放映した。 【前年度からの改善点等】 見学 ⇒ 体験 ⇒ 対話 ⇒ 給食交流と一連の流れにより食と農の密接な関係や大切さをより身近に感じられるよう事業を実施。	（i）多面的機能支払活動の地元組織と翔陽高校の連携 農業土木技術は、農業従事者が安全、効率的に農作業をするために重要な役割があり、農業の担い手同様、高校生が中学生に農業土木の魅力や重要性を伝えたり、体験することによって農を支える未来の担い手づくりに繋がっている <table><tr><th></th><th>実施日（会場）</th><th>参加者</th></tr><tr><td rowspan="2">体験</td><td rowspan="2">7/3（翔陽高校）</td><td>中西中学校2年生 13 人</td></tr><tr><td>翔陽高校3年生 18 人 （生物環境工学科 ・環境土木コース）</td></tr><tr><td rowspan="2">見学・体験</td><td rowspan="2">9/4 （三隅・益田道路 大浜第一高架橋）</td><td>中西中学校2年生 13 人</td></tr><tr><td>翔陽高校3年生 18 人 （生物環境工学科 ・環境土木コース）</td></tr><tr><td rowspan="2">現地修繕</td><td rowspan="2">11/6（中西地区内圃場）</td><td>中西中学校2年生 14 人</td></tr><tr><td>翔陽高校3年生 17 人 （生物環境工学科 ・環境土木コース）</td></tr></table> ■「令和6年度多面的機能支払中国四国シンポジウム in しまね」（1/30）にて、地元組織と翔陽高校の取組がパネル展示で紹介された。 （ii）圃場見学と対話＋ 益田市の特産品（ぶどう）が水と土と密接にかかわりあうことを学び、食と農のつながりや大切さを考えるきっかけ作りとなった。 また、児童生徒に生産者の思いを感じてもらいながら、ぶどうを堪能し、生産者の仕事や生き方、考え方にも触れることでひとづくりへもつながる。 <table><tr><td rowspan="2">見学・対話＋</td><td rowspan="2">6/28</td><td>豊川小学校3・4年生 11 人</td></tr><tr><td>生産者 6 人</td></tr><tr><td rowspan="2">給食交流会</td><td rowspan="2">7/16</td><td>豊川小学校3・4年生 11 人</td></tr><tr><td>生産者 2 人</td></tr></table>		実施日（会場）	参加者	体験	7/3（翔陽高校）	中西中学校2年生 13 人	翔陽高校3年生 18 人 （生物環境工学科 ・環境土木コース）	見学・体験	9/4 （三隅・益田道路 大浜第一高架橋）	中西中学校2年生 13 人	翔陽高校3年生 18 人 （生物環境工学科 ・環境土木コース）	現地修繕	11/6（中西地区内圃場）	中西中学校2年生 14 人	翔陽高校3年生 17 人 （生物環境工学科 ・環境土木コース）	見学・対話＋	6/28	豊川小学校3・4年生 11 人	生産者 6 人	給食交流会	7/16	豊川小学校3・4年生 11 人	生産者 2 人	（i）多面的機能支払活動の地元組織と翔陽高校の連携 【今後の取組方針等】 ・他の中学校や高校とも取り組むことで、未来の土木技術者増加や農業を取り巻く地域課題解決につながるよう今後も連携して事業を継続する。 （ii）圃場見学と対話＋ 【課題】 ・単年度の取組では効果がない 【今後の取組方針等】 ・受入農家と対象校を広げ、多くの生産者や児童に関わってもらえるよう今後も事業を継続する。
	実施日（会場）	参加者																							
体験	7/3（翔陽高校）	中西中学校2年生 13 人																							
		翔陽高校3年生 18 人 （生物環境工学科 ・環境土木コース）																							
見学・体験	9/4 （三隅・益田道路 大浜第一高架橋）	中西中学校2年生 13 人																							
		翔陽高校3年生 18 人 （生物環境工学科 ・環境土木コース）																							
現地修繕	11/6（中西地区内圃場）	中西中学校2年生 14 人																							
		翔陽高校3年生 17 人 （生物環境工学科 ・環境土木コース）																							
見学・対話＋	6/28	豊川小学校3・4年生 11 人																							
		生産者 6 人																							
給食交流会	7/16	豊川小学校3・4年生 11 人																							
		生産者 2 人																							

【進捗状況】 ・ 見学及び対話＋ （6/28 実施） ・ 給食交流会 （7/16 実施済） （iii）ちびっこ農園の開催 〔益田市農林改良青年会議、市内幼稚園〕 【前年度からの改善点等】 ・ 園児達が楽しく活動できるよう会員の役割分担を決めた。 【進捗状況】 ・ さつまいも苗の植え付け （6/4 実施済） ・ 収穫 （10/11 実施済） （ウ）農家や関係機関と連携した、新規就農希望者に対する支援 （ i ）体験、研修支援（里の守り人づくり事業） 【前年度からの改善点等】 ・ 就農希望者の意向に沿った研修となるよう事前の話し合いを十分行っている。 （ ii ）体験希望者の育成（ますだ食と農の基本計画推進事業） 認定農業者連絡協議会・農林大学校・翔陽高校の意見交換会による、市内高校生に対する就農への意識づけ 【進捗状況】 ・ 意見交換会 （7/18 実施済） 【前年度からの改善点】 ・ 意見交換時間を十分とるように日程を見直した。	（iii）ちびっこ農園の開催 体験を通じて農業の楽しさと食の大切さを知ってもらう機会となる。 <table><tr><th></th><th>実施日</th><th>参加者</th></tr><tr><td>さつまいも苗の 植え付け</td><td>6/4</td><td>益田・吉田幼稚園 21 人</td></tr><tr><td>収穫</td><td>10/11</td><td>益田・吉田幼稚園 42 人</td></tr></table> （ウ）農家や関係機関と連携した、新規就農希望者に対する支援 （ i ）体験、研修支援（里の守り人づくり事業） 就農希望者が体験、研修制度を活用することで、知識や技術の習得に専念することができ、スムーズな就農につながっている。 <table><tr><td>里の守り人づくり事業</td><td>5 人（2 月末現在）</td></tr></table> （ ii ）体験希望者の育成（ますだ食と農の基本計画推進事業） 農業に興味を持った若い世代が、現在の益田の農を支えている認定農業者と対話することで農業への理解を深めるとともに就農への意欲につなげる。 <table><tr><th></th><th>実施日</th><th>参加者</th></tr><tr><td rowspan="3">意見交換会</td><td rowspan="3">7/18</td><td>認定農業者 9 人</td></tr><tr><td>農林大学校 4 人</td></tr><tr><td>翔陽高校 40 人（生物環境工学科 1 年）</td></tr></table>		実施日	参加者	さつまいも苗の 植え付け	6/4	益田・吉田幼稚園 21 人	収穫	10/11	益田・吉田幼稚園 42 人	里の守り人づくり事業	5 人（2 月末現在）		実施日	参加者	意見交換会	7/18	認定農業者 9 人	農林大学校 4 人	翔陽高校 40 人（生物環境工学科 1 年）	（iii）ちびっこ農園の開催 【今後の取組方針等】 ・ 多くの園児に体験してもらえるよう、今後も連携して事業を継続する。 （ウ）農家や関係機関と連携した、新規就農希望者に対する支援 （ i ）体験、研修支援（里の守り人づくり事業） 【課題】 ・ 研修終了後、円滑な就農となるよう早期の農地確保を進める必要がある。 【今後の取組方針等】 ・ 新規就農を目指す担い手への体験・研修等の継続的な支援を関係機関と連携しながら行う。 （ ii ）体験希望者の育成（ますだ食と農の基本計画推進事業） 【課題】 ・ 高校生の就農意欲を高められるよう意見交換のテーマを検討する。 【今後の取組方針等】 ・ 農業者との連携による、幅広い世帯に対する農の魅力発信等を行い、就農への意識を高める活動をするに加え、翔陽高校生の就農、農大生への益田での就農へつなげるため、関係機関と連携して事業を継続する。
	実施日	参加者																			
さつまいも苗の 植え付け	6/4	益田・吉田幼稚園 21 人																			
収穫	10/11	益田・吉田幼稚園 42 人																			
里の守り人づくり事業	5 人（2 月末現在）																				
	実施日	参加者																			
意見交換会	7/18	認定農業者 9 人																			
		農林大学校 4 人																			
		翔陽高校 40 人（生物環境工学科 1 年）																			

特記事項	■高校生の管内就職率（ハローワーク調べ R7.1 月末時点見込） 29.3％（就職希望者数 123 名、うち管内就職予定者数 36 名） ■翔陽高校の進路状況
------	---

	生物環境工学科から ・農林大学校：1 名 ・農業土木・土木関係の公務員：7 名 ■農林大学校の進路状況 ・益田での就農：1 名（益田出身、翔陽高校卒） ■中西中学校から翔陽高校への進路状況 ・電子機械科：1 名、総合学科：1 名
--	---